

秋田県八峰町及び能代市沖における協議会（第5回）

○日時

令和7年1月21日（火）14時00分～15時30分

○場所

ANAクラウンプラザホテル秋田 4階 シリウス
（WEB会議を併用）

○参加者（※WEB参加者を示す）

（構成員）

経済産業省 資源エネルギー庁 新エネルギー課 風力政策室 室長	古川 雄一
国土交通省 港湾局 海洋・環境課 海洋利用調査センター 所長	佐渡 英樹
農林水産省 水産庁 資源管理部 管理調整課 計画官	森田 浩史
秋田県 産業労働部 クリーンエネルギー政策統括監	阿部 泰久
能代市 環境産業部長	大谷 滋宣
八峰町 町長	鎌田 雅人
秋田県漁業協同組合 代表理事組合長	加賀谷 弘
秋田県漁業協同組合 北部地区運営委員	田村 忠悦
秋田県漁業協同組合 能代地区漁業者代表	荒川 一則
八峰町峰浜漁業協同組合 副組合長	若狭 敏晴
日本内航海運組合総連合会 海務部担当部長	逸見 幸利※
秋田職業能力開発短期大学校 校長	中村 雅英
秋田県立大学 システム科学技術学部 教授	杉本 尚哉（欠席）
秋田大学 理工学部 システムデザイン工学科 教授	浜岡 秀勝（欠席）
東京大学 教養学部 附属教養教育高度化機構 客員准教	松本 真由美※
合同会社八峰能代沖洋上風力 プロジェクトディレクター	山田 智之

（オブザーバー）

○議題

- (1) 本協議会の運営について
- (2) 事務局及び選定事業者説明

○議事概要

(1) 本協議会の運営について

- 経済産業省（事務局）より、資料3（秋田県八峰町及び能代市沖における協議会運営規程の改正案）を説明。
- 構成員による推挙により、座長を秋田職業能力開発短期大学校中村構成員、座長からの指名により、副座長を秋田県立大学杉本構成員と選任された。
- 協議会運営規程について、案の通り承認された
- 座長より、協議会の公開の方法について、議事要旨及び議事録の公表及び一般傍聴や報道関係者の傍聴を認めることを前提に、次回以降の協議会はYoutubeによる配信は行わないことについて提案・承認された。

(2) 事務局及び選定事業者説明

- 経済産業省（事務局）より、資料4（秋田県八峰町及び能代市沖におけるこれまでの経緯と今後のプロセス）を説明。
- 合同会社八峰能代沖洋上風力より、資料5（秋田県八峰町及び能代市沖洋上風力発電事業概要説明）を説明。
- 経済産業省（事務局）より、資料6（今後の協議会の進め方（案））を説明し。案の通り承認された。

秋田県漁業協同組合

- 海域の占用許可は、いつまでに必要となるのか。

国土交通省（事務局）

- 占用許可については、海上工事など、海域での作業を行う直前までに取得する必要がある。

秋田県漁業協同組合

- 海域占用に際しての漁業者の同意について、風車が設置される海域の漁業者が行うこととなるが、丁寧な説明があると同意が得られるものと考えている。

合同会社八峰能代沖洋上風力

- 承知した、丁寧に説明させていただく。

八峰町

- 当町は人口減少、少子高齢化が加速度的に進み、歴史あるイベントも継続することが困難な状況である中、事業者においては、地元イベント、事業などに参加いただいていることに感謝しており、今後とも同様に進めていただきたい。
- 地元企業の参画について、建設、オペレーション、メンテナンスにおいて、参画できるよう進めていただきたい。
- 発電電力の地産地消について、様々な課題はあるものと思われるが、当町もサポートしていくため、実現できるよう進めていただきたい。

合同会社八峰能代沖洋上風力

- 地元企業の参画について、様々なマッチングに関するセミナーなどを開催しており、また、当社に問い合わせいただければ、可能な限りマッチングを促進していく。
- マッチングについては、建設を担当する一次請企業、又は、その下請け経由となるが、当社としても可能な限りマッチングを促進するように努力していく。
- 電力の地産地消について、地域振興・漁業共生の6の施策の内の1つの施策として、電力の地産地消を掲げている。
- 現時点では、具体的な形で紹介できる状況とはなっていないが、様々な形で電力の地産地消を行うことを念頭に進めており、具体的な形で紹介できる状況になり次第、説明させていただく。

秋田職業能力開発短期大学校（座長）

- 地域と事業者は、今後、30年間に及ぶ長い付き合いとなるため、ウィンウィンの関係となれるよう進めていただきたい。

能代市

- 事業者においては、高校生を対象とした次世代エネルギースクールにおける水中ドローンの操作体験、浅内小学校におけるワークショップなど、運転開始前から取組みに協力いただいていることに感謝している。
- 地域の期待は非常に大きく、小さなことからでも、運転開始前から様々な取組みを行っていただきたい。
- 能代花火大会、のしろ港祭り、天空の不夜城などにも協賛いただき感謝しており、このような取組みを続けていただくと共に、事業者が協力していることも大々的に公表し、市民が、地域に洋上風力発電が設置されることで恩恵が得られることを実感できるよう進めたい。
- 電力の地産地消について、秋田県で能代西高等学校跡地に再エネ工業団地を整備する計画があり、電力を直接利用することは難しい面があるかとは思われるが、電力の地産地消の面から協力をいただきたい。
- 本市としては、洋上風力発電を契機として、地方創生に取り組んでいきたく、力添えをいただきたい。

合同会社八峰能代沖洋上風力

- 引き続き地元のイベントへの参加など、様々な形で地域への理解を深めていく。
- 当社が行っていることを、より地域の方に理解いただく必要があることも、ご指摘により再認識したところであり、留意して進めていく。
- 電力の地産地消について、重要課題と考えており、今後、どのような形で地産地消が行えるのか、協議させていただきながら、早期に実現させていきたい。

秋田県（事務局）

- 能代西高等学校跡地の工業団地について、現在、再エネ工業団地として活用できるよう造成などの整備を進めているが、F I P制度や内閣府のG X 2 0 4 0ビジョン中に掲げられている、地域のクリーンエネルギーを活用した地方創生などの内容を踏まえ、今後、県市町で協議させていただきたい。

秋田県漁業協同組合

- 漁業者、地域住民に対する説明について、事業者においては、以前より頻繁に説明会を開催いただいているが、今後も同様に、頻繁に開催いただきたい。
- 説明会を開催いただくことにより、漁業者、地域住民の不安の払拭にも繋がることとなる。

合同会社八峰能代沖洋上風力

- 関係者の皆様に協力いただき、説明会を開催させていただけることに感謝申し上げます。
- 事業を理解いただくことは、非常に大事なことであり、今後も、建設、運転開始など様々なタイミングで説明会を開催させていただく。

秋田県漁業協同組合（北部地区）

- 漁業者として、一番懸念していることは、モノパイルの打設音である。
- 能代港の風車よりもモノパイル自体の規模が大きくなるものと考えており、打設音などによる漁業への影響は、計り知れない面があり、騒音や漁業への影響について、事業者としてどのように考えているのか。

合同会社八峰能代沖洋上風力

- 漁業への影響について、建設開始前、建設中、運転開始後に渡り、漁業影響調査を行う計画であり、漁業へどのような影響があるのか、有識者の意見も踏まえながら丁寧に評価を行っていく。
- モノパイルの打設について、様々な不安を持たれていることは、十分に承知をしており、その点も踏まえて調査を行うこととなる。
- モノパイル打設時の騒音対策について、打設による騒音が環境基準を下回るように、騒音解析、評価を行い、打設に用いるハンマーの仕様や騒音対策方法など、具体的な検討を進めている最中であり、様々な騒音低減装置についても、効果などを総合的に勘案して選定する予定である。
- モノパイル打設の作業時間は原則8時から18時までとする計画であり、打設前には、作業時間や作業内容を漁業者、地元住民、自治体などの皆様に丁寧な説明を行い、最大限に配慮して、作業を進

めていく。

- 当社としても、モノパイル打設は、非常に重要な事項であると考えており、関係者の皆様と協議を行いながら、可能な限り影響が少なくなるよう進めていきたく、引き続きご意見をいただきたい。

秋田県漁業協同組合（北部地区）

- 実際の前例がないため、どの程度の影響があるかは、誰も分からないものと考えている。
- 音や振動など何かしらのクレームが寄せられることが想定され、その際には、適切な対処をいただきたい。

合同会社八峰能代沖洋上風力

- 承知した。

秋田職業能力開発短期大学校（座長）

- 他地域の過去の協議会において、工事期間中は魚が大きく減り、工事終了後に回復するとの調査結果が説明されたとの認識がある。
- 建設工事中は魚が大きく減る可能性があり、その際には、基金の配分などで漁業者への配慮は必要となるが、分からないことが多いため、ケースバイケースで柔軟に対応していく必要がある。

秋田県漁業協同組合

- 正確ではないが、打設音による魚への影響について示されたことがあるとの認識がある。

秋田職業能力開発短期大学校（座長）

- 他地域の過去の協議会において、打設音により魚に内出血などの障害が生じた写真が示されたとの認識がある。
- 一時的に大きな影響が生じる可能性があり、その際は、対応が必要であり、基金の活用など、漁業者からも意向を示していただくようお願い。

秋田県漁業協同組合（能代地区）

- 漁業影響調査について、事業者より様々な魚種の調査を行うとのことで漁業者としては好ましく考えており、今後、詳細な調査を行い、影響についてのデータが示せるよう進めていただきたい。

合同会社八峰能代沖洋上風力

- 漁業影響調査について、来月の漁業影響調査検討委員会において、具体的な調査内容を説明させていただき、3月に具体的な調査内容の承認をいただくことで進めている。
- 調査対象魚種についても、具体的な魚種の協議を行うこととなり、その際には改めてご意見をいただきたい。

八峰町峰浜漁業協同組合

- 地域振興策・漁業共生策の取組方針（資料4 10頁）の図に示されている振興策、共生策に関する各種施設について、要望に基づき、整備を進めている地域があるのか。

合同会社八峰能代沖洋上風力

- 示している図は、地域振興策、漁業共生策として掲げている6つの施策を1つの図に示した場合のイメージとなり、具体的な場所や施設などを示しているものではない。

八峰町峰浜漁業協同組合

- 地域振興策、漁業共生策について、現在示されている振興策、漁業共生策は、我々漁業者が望んでいるものであるのか疑問である。
- 風車が設置される場所は峰浜地区であり、可能であれば当該地区を対象とした地域振興策、漁業共生策を行っていただきたい。
- 現在、実施されている地域振興策、漁業共生策（資料4 15頁）には、峰浜地区が含まれておらず、当該地区が取り残されているように感じている。
- 風車が設置されることで、トラブルによる船舶漂流時や濃霧時などにおける風車への衝突など、最も危険性が高い場所は、峰浜地区の海域であり、GPS、ブザーなど警報装置などの船舶への設置を検討いただきたい。

合同会社八峰能代沖洋上風力

- 船舶航行の安全確保について、衝突事故などの可能性があり、それを防止するため、可能な限りの措置を行っていく必要がある。
- 法令、ガイドラインに基づき標識などを設置することや、AIS（自動船舶識別装置）などの様々な機器を活用することで衝突事故を防いでいくことも可能である。

- 安全面は非常に重要であり、今後、機器を活用するのか否かなど、漁業者の皆様と具体的に協議をしながら、可能な限りの対応を行っていくこととなり、重要課題として引き続き協議させていただきたい。
- 峰浜地区を対象とした地域振興策・漁業共生策について、現状では実施しているものはないが、今後、当該地区を対象とした地域振興・漁業共生策についても、視野に入れて取組みを進めていく。
- どのような地域振興策・漁業共生策が地元の皆様にとって有意義であるかなど、引き続きご意見をいただきたい

秋田職業能力開発短期大学校（座長）

- 船舶航行の安全確保について、他地域においては、カーナビのような機器の活用も検討されている。

秋田県漁業協同組合

- 小型の漁船などの殆どはレーダーなどが付いておらず、カーナビのような機能を持つ、ビデオプロッターも安価で出回っており、他地域の協議会においては、設備のない船へ、可能であれば設置いただけるよう要望させていただいた。

秋田職業能力開発短期大学校（座長）

- 基金の活用した機器の購入なども考えられ、安全は最も重要であるため、十分に議論し、良い方向に向かうよう進めていただきたい。

日本内航海運組合総連合会

- 事業者からは、事前に丁寧に説明をいただいております、協議も重ねている。
- 今後、航行安全委員会も開催される予定であり、小型船舶航行の安全確保などについても議論されるものと考えている。

東京大学

- 本プロジェクトでは風車施工を北海道の室蘭港で行う計画であり、風車を室蘭港から秋田まで輸送することとなるため、通常の施工より、若干リスクの高い事業計画となっていると考えている。
- 輸送などには時間を要すること、天候の影響も受けることなどから、施工が通常よりも若干難しく、リスクがあるため、事業者において

はリスクマネジメントを確実に行っていただきたい。

- 近年資材価格が上昇しており、事業性を確保することが難しくなっているとの懸念があり、途中で事業撤退との事態は避けるものとは思われるが、事業者としての考えを教えてください。

合同会社八峰能代沖洋上風力

- 室蘭港の利用について、風車のプレアッセンブルで室蘭港を利用する計画であるが、秋田港を他海域の事業者が利用していることや、早期運転開始が求められていることから室蘭港を利用する計画としている。
- 室蘭から秋田まで輸送する場合、途上での天候の悪化などによるリスクもあるが、そのようなリスクを踏まえて、荒天に伴う待機の日数を踏まえた計画、スケジュールとしている。
- 事業環境の悪化について、事業環境は変化しているが、必要な収益性は確保できるものと考えており、当事業を最後まで確実にやり遂げるという考えに変わりはない。

東京大学

- 承知した。

秋田職業能力開発短期大学校（座長）

- 当事業は売電価格が非常に安く、再エネは高いとの固定観念がある中、本事業が成功すれば、再エネが高いという常識が覆されることとなる。

合同会社八峰能代沖洋上風力

- 公募の際の供給価格はゼロプレミアムの3円/kWhであるが、販売先については、コーポレートPPAとして確保をしており、事業は確実に遂行できるものと考えている。

秋田県漁業協同組合

- 今後の協議会の開催回数について、日程調整や経費などの関係で難しい面はあるかと思うが、可能であれば、年2回開催していただきたい。

秋田職業能力開発短期大学校（座長）

- 協議会の毎年1回開催は最低限の回数であり、実務者会議での議論を協議会へ報告する必要がある場合など、要望いただければ、2

回以上開催することも可能である。

日本内航海運組合総連合会

- 今後開催予定の航行安全委員会について、実務者会議に該当することとなるのか。

経済産業省（事務局）

- 航行安全委員会は実務者会議とは別との認識である。

日本内航海運組合総連合会

- 本事業は室蘭港を利用して建設を進めるため、資材を輸送する経路や建設計画など、協議会で議論すべき重要な事項が議題に上がる可能性がある。

経済産業省（事務局）

- 協議会で議論すべき重要な事項であれば、協議会で議論することとなる。

秋田職業能力開発短期大学校（座長）

- 協議会で議論すべき重要な事項である場合、協議会を開催し議論が必要であるとの要望をいただきたい。

日本内航海運組合総連合会

- 承知した。

秋田職業能力開発短期大学校（座長）

- 今後の協議会の進め方について、事務局案の通り承認された。
- 事務局及び事業者においては、本日の議論を踏まえて、次回以降に向けて、準備いただきたい。

以上